



中部小学校での福祉教育の取り組みを紹介します。

中部小学校では、毎年3学年でアイマスク体験、4学年で点字体験、5学年で手話体験、6学年で車いす体験を行っています。また、高齢者施設を訪問し、世代間交流しているクラスもあります。このように、福祉体験に取り組むことにより、地域に暮らしている様々な人について理解を深めています。

## ふだんのくらしのしあわせ

### 福祉教育とは

私たちの住む地域には様々な人がいます。子ども、高齢者、認知症の方、障がい者、外国人、過去に刑を受けた方...。その誰もが役割や生きがいを持って、安心して楽しく住み続けられるまちにしていけることを福祉教育は目指しています。その「共生の地域づくり」を進めるために、各学校で様々な福祉教育が実践されています。



## 3年3組とゆとり荘

### 遊びに来たよ！ 7月



〈歌と踊りの披露〉

元気で長生きしてください



〈肩たたきと折り紙のプレゼント〉

### 喜んでくれるかな 7月



子どもたちからゆとり荘に絵手紙を届けました

### 10月 また来たよ！

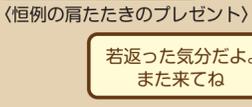
今日も上手って言われてうれしかった



〈ピアノ練習してきたよ〉



おじいさんと話してみただけど、うまく聞こえなかったみたい。次はもっと大きい声で話さないか



〈恒例の肩たたきのプレゼント〉

若返った気分だよ。また来てね

### 次の交流は2月

### 12月 メリークリスマス！！

ゆとり荘の皆さんへ手作りのクリスマスプレゼント。「いつまでも元気でいてね。」「また遊びに行くね。」



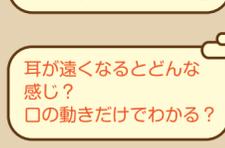
### 「年をとるってどんなこと？」を体験しよう

年を取るとどんな事で困るそう？

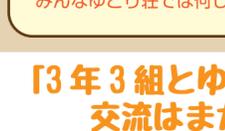
学校の教室で、ゆとり荘職員さんに教えてもらいました。



腰が曲がるとどんな感じ？「歩いてみよう！」



耳が遠くなるとどんな感じ？口の動きだけでわかる？



目が見えなくなるとどんな感じになる？「目を閉じて片足で立ってみよう！」



ゆとり荘には何歳の人に来てんの？腰が曲がっている人はどうやってお風呂に入るの？みんなゆとり荘では何しているの？



13年3組とゆとり荘との交流はまだまだ続きます！

## ミッションに挑戦!! アイマスク体験 <3学年>

### ミッション1

どっちがジュースで、どっちが牛乳パックかわかる？



上の部分をさわるとわかるよ

### 実習のねらい

- 1 目が見えない人の気持ちを知ろう
- 2 目が見えないと困る事はどんな事か知ろう
- 3 どんなふうにお手伝いするとよいか、どんなふうにして声をかけたらよいか考えよう

### ミッション2

どっちがケチャップで、どっちがマヨネーズかわかる？



においでわかるよ

### ミッション3

白いくつ下はどれ？



靴下か手袋かはさわればわかるけど、色はわからないよ

### 体験してみてどうだった？

- ★目が見えない人にもわかるように色々工夫されているんだね。
- ★自分がどこにいるのかとか、物がどこにあるか教えてもらったから助かったよ。
- ★もっとゆっくり歩いてあげたり、大きい声で言ってあげれば良かった。色も教えてあげれば良かったな。

点字は目が不自由な方が読んだり書いたりする為の文字

## 点字体験 <4学年>

### 実習のねらい

- 1 視覚障がい者の理解を深める
- 2 点字についての理解を深める



3年生のアイマスク体験でさわったビール缶にあったのも点字

ほとんどの生徒が点字を打つのは初めて。皆、真剣です。

段々慣れてきたら早く打てるようになったよ



先生は「点字学習会すぼの」の田中さんと山口さん色々なことをよく見て、よく聞いて、よく考えて、よく感じて。困っている人を助けられるようになって。



打った点字を目を閉じてさわってみよう

- 他にはどこにある？
- ・点字ブロック・リモコン
  - ・シャンプーのふた
  - ・洗濯機のボタン
  - ・店の呼び出しボタン
  - ・切符売り場
- 皆たくさん知っていました

【編集後記】今回は箕輪中部小の福祉体験の取り組みと、福祉施設との交流を取り上げました。お年寄りや障がいをお持ちの方、ボランティア活動されている方などの会話や対話、関わりあいを通じて地域には様々な人が暮らしていることを知る機会になったのではないのでしょうか。お互いを認め合い、相手の立場になって考える心、ひとりぼっちにしない心を持ち続けて欲しいと思います。

## 箕輪中学校1学年の福祉体験へ

### 車いす体験 <6学年>

### 実習のねらい

- 1 車いすについて知る
- 2 協力して介助する
- 3 車いすで生活している人を理解する



車いすの人も困る事はたくさんあります。気づいたら助けてあげて。



車いすの基本的な使い方を教わり、自走もしてみました

車いすは歩行ができない方にとって移動できる道具であり、体の一部です。

押してもらっている時は楽だったけど、自走は力が必要から大変。坂だったらもっと大変そう



コーンや壁にぶつけないように気を付けないと

補佐役と協力して介助

### ■藤澤さん教えて!!

- ▶電動車いすを買った時どんな気持ち？
- ▶お風呂はどうしているの？
- ▶食事はどうするの？
- ▶階段しかない所はどうするの？
- ▶車いすで生活して怖いと思ったことは？
- ▶生活で一番困る事は？

講師は電動車いすで生活されている藤澤さん。体験後は藤澤さんの生活について、教えてもらいました。質問しきれなかった分は、後日、お手紙で返答してもらいました。

### 手話体験 <5学年>

### 実習のねらい

- 1 聞こえないとはどういう事かを理解する
- 2 聴覚障がいのある人とのコミュニケーションの取り方を知る

病院や店、災害時など、聴覚障がい者は、聞こえないために大変なことがたくさんあると言っていることをわかってもらえるといいな



簡単な手話はだいたいイメージしたらできるよ

### ■講師の先生に聞いてみました

- Q：聞こえない人は見ただけではわからないけど...
- A：声をかけても気づかなかったら、聞き取りづらい人なのかなって思っただけ。聴覚障がい者はばかりじゃなくて、高齢者で聞き取りづらい人もいますよ。
- Q：手話がわからないと、聞き取りづらい人と話せない？
- A：他には筆談、口話、空書という手段もあるよ。聞き取りづらい人にも色々な人がいるからどうしようコミュニケーションが良いか考えてね。



講師は手話通訳者の小林さんと尾曾さん。あいさつ、くだもの、食べ物、動物の手話を教わりました。



覚えてくれて楽しかった。今度聞こえない人に会ったら、手話であいさつできそう